

参院選で願いが届く政治に

京都で「緊急要求懇談会」と「国政報告会」を開催

京都府委員会は18日、「コロナ禍での原油・原材料高騰、暮らしの危機突破緊急懇談会」「参院選挙勝利へキックオフ！国政報告会」をそれぞれ開催しました。

切実な要望に大門議員が的確回答。参加者の確信に

緊急懇談会には、こくた恵二衆院議員、倉林明子参院議員とともに、大門みきし参院議員が出席。参加者からは、給付金申請をめぐる「不備ループ」問題が共通して出されたほか、「インボイス制が強行されれば業者はつぶされる」「ウッドショックに続いた半導体不足。材料の高騰と品不足が建設現場に大きな影響」「LP ガスが60円台から100円台となりタクシー業界は大変」「商店街の解散が起り、夜間の照明がつかず、住民から苦情の声」「ケア労働者への手当は小遣い程度のもの。本格的な最低賃金の引き上げ、直接の賃金助成が必要だ」など、切実な意見と要望が出されました。

大門議員が的確に回答。「不備ループ」問題では、「一時支援金で98%まで、月次支援金では242万件の未支給を224万件まで解決してきた」など運用改善の実績を報告。国の融資返済の期限が迫っている問題では、「債務を減らすことが必要であり、そのためには給付金と債務免除を」と主張。原油・原材料高騰問題では、「特別交付金や地方創生臨時交付金の活用」、最賃引き上げ問題では、2兆円規模の中小企業支援で500円の賃上げを実施したアメリカの例を紹介し、「思い切った経済対策として、最賃引き上げを大胆に実施すべき」と強調しました。そして「要求実現のためには一つ一つのたたかいを前進させるとともに、政治の大本転換が必要。参院選で政権交代への足掛かりをつくろう」と訴えました。

参加者は、「共産党がどのように取り組んできたのか、課題は何か、大変よく分かった」と確信を深めました。

質問に答える双方向の報告会

国政報告会には約200人が参加。第1部は、「さいこ&みきしとちかこのツイキャストーク」。京都選挙区たけやまさこ（彩子）予定候補と、比例近畿の予定候補・大門みきし参院議員の魅力たっぷりのトーク企画に。



第2部では、事前に寄せられた質問に答える形で、こくた衆院議員が「野党共闘」について、井上さとし参院議員が「憲法改悪の動き」について、倉林参院議員が「政府のコロナ対応」について、大門参院議員が「新自由主義と岸田政権の経済政策」について、国会と国政の状況を報告。たけやま予定候補も、会場から出されたジェンダーギャップの質問に答えました。笑いあり、たたかう希望が湧く「双方向」の報告会となりました。

21近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 53(2021.12.21)